

いのち  
源流 生命のみなもと



全国源流の郷協議会

<http://www.genryunosato.net>

## あいさつ

～全国源流の郷協議会 会長 船木直美～



全国の源流域で環境保全や源流域の暮らし、文化を発展させるために、日夜ご尽力なさっている皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。平成26年以降、新たに熊野川などの源流である和歌山県の田辺市、岩木川源流の青森県西目屋村、雄物川源流の秋田県東成瀬村に協議会へ加入して頂き、全国各地の源流の郷である21市町村の集まりとなりました。この協議会は、全国各地の河川の最上流に位置する自治体が結集し、平成17年11月に発足致しました。これらの源流の自治体が一体となって国民へ広く源流の現状や大切さを伝えるために、「源流白書」を作成し、源流が存続していけるよう源流基本法の制定などを提案し、その実現に取り組んでおります。

日本の源流域は、国土保全の最前線、環境保全の最前線に位置しております。それゆえ、源流の郷の役割と責任はますます重要となってきています。私達の協議会は、源流地域の重要性を多くの国民に理解していただき、協力が広がるような活動をこれからも強化して参りたいと思っています。全国の源流地域の皆様が、この運動に合流下さいますよう心からお願い申し上げます。

会 長	山梨県小菅村	船木直美村長
副 会 長	長野県木祖村	唐澤一寛村長
副 会 長	奈良県川上村	栗山忠昭村長
会 員	島根県津和野町	下森博之町長
	愛媛県松野町	阪本壽明町長
	高知県津野町	池田三男町長
	岡山県新庄村	小倉博俊村長
	和歌山県北山村	奥田 貢村長
	和歌山県田辺市	真砂充敏市長
	奈良県天川村	車谷重高村長
	奈良県上北山村	福西 力村長
	奈良県下北山村	南 正文村長
	奈良県黒滝村	辻内幸二村長
	奈良県東吉野村	水本 実村長
	長野県根羽村	大久保憲一村長
	長野県川上村	藤原忠彦村長
	山梨県道志村	長田富也村長
	山梨県甲州市	田辺 篤市長
	群馬県みなかみ町	岸 良昌町長
秋田県東成瀬村	佐々木哲男村長	
青森県西目屋村	関 和典村長	

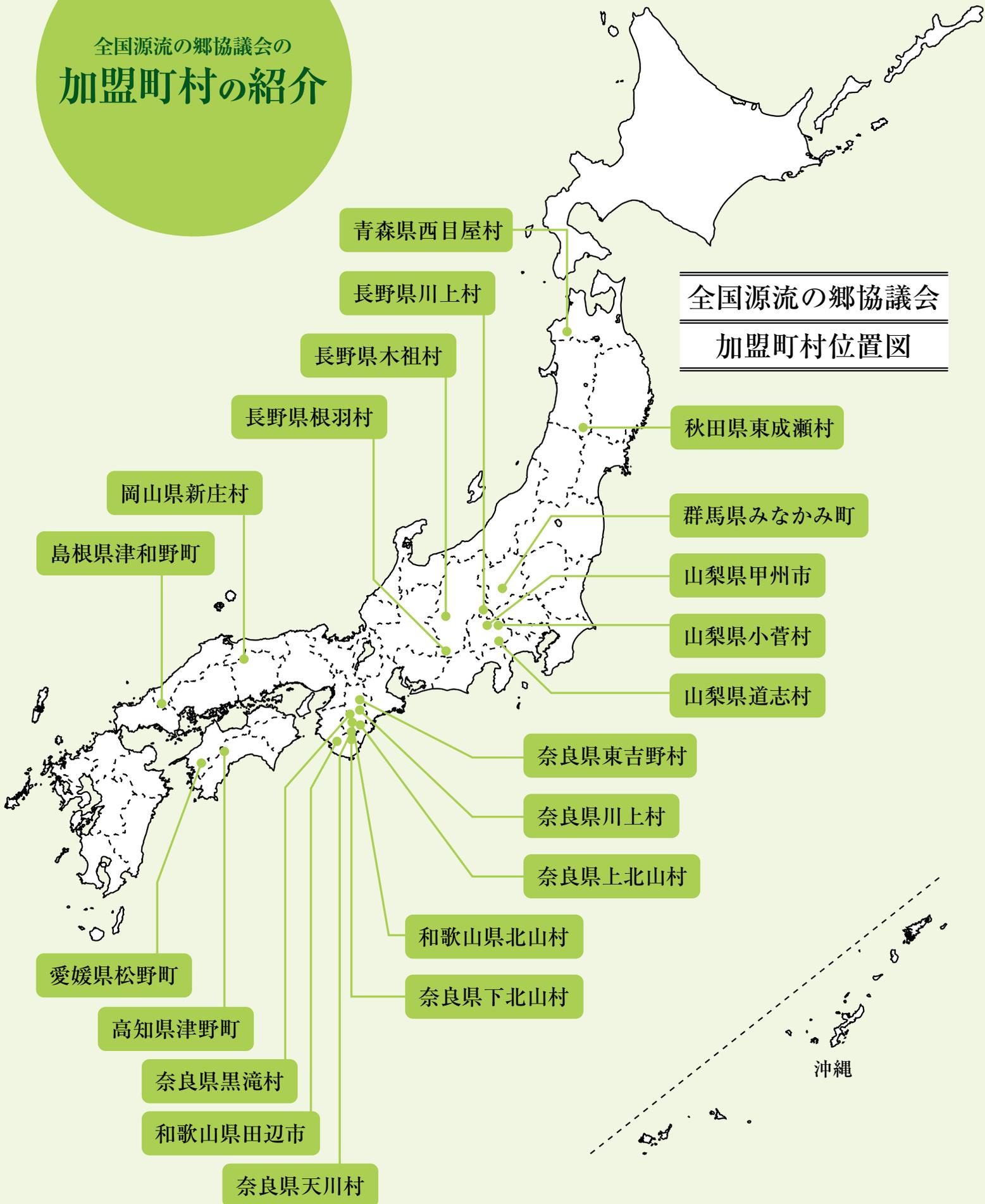
平成27年6月1日現在

## 全国源流の郷協議会の歩み

河川の源流域に位置する自治体が、森林環境保全や源流の郷への国の特別支援対策を求めて、平成17年11月30日に東京都千代田区の全国町村会館で全国源流の郷協議会を設立しました。

平成17年度	11月30日	全国源流の郷協議会を設立
平成18年度	5月21日	全国源流の郷協議会平成18年度総会開催
	10月28日 29日	全国源流シンポジウムを開催(小菅村)
	1月18日	源流再生政策委員会開催
平成19年度	5月22日	全国源流の郷協議会平成19年度総会開催
	10月27日 28日	全国源流シンポジウムを開催(五ヶ瀬町)
	11月 9日	源流再生支援対策を国に要望
平成20年度	11月29日	源流再生政策委員会開催
	5月20日	全国源流の郷協議会平成20年度総会開催
	7月30日 31日	大橋式路網現地研修会を開催
平成21年度	8月30日 31日	全国源流シンポジウムを開催(木祖村)
	5月20日	全国源流の郷協議会平成21年度総会開催
	9月12日 13日	全国源流シンポジウムを開催(天川村)
平成22年度	10月 5日 6日	全国森林作業道研究会を開催
	12月25日	国に林道や森林作業道の整備などを要望
	5月19日	全国源流の郷協議会平成22年度総会開催
平成23年度	9月 6日 7日	第2回全国森林作業道研究会を開催
	10月22日 ～24日	第1回全国源流サミットを開催(道志村)
	12月 1日	国や民主党に水源地保全などを要望
平成24年度	5月18日	全国源流の郷協議会平成23年度総会開催
	9月12日 13日	第3回全国森林作業道研究会を開催(根羽村)
	10月21日 ～23日	第2回全国源流サミットを開催(新庄村)
平成25年度	5月16日	全国源流の郷協議会平成24年度総会開催
	9月 7日	源流再生政策検討会開催
	10月22日 ～24日	第3回全国源流サミットを開催(津野町)
平成26年度	5月22日	全国源流の郷協議会平成25年度総会開催
	7月 5日 ～7日	第4回全国源流サミットを開催(みなかみ町)
	3月	源流白書の発行
平成27年度	5月28日	全国源流の郷協議会平成26年度総会及び 源流白書発表会の開催
	9月 5日 ～7日	第5回全国源流サミットを開催(奈良県川上村)
	10月 2日	源流白書検証委員会の開催
	2月 9日	源流白書検証委員会の開催

全国源流の郷協議会の  
加盟町村の紹介



全国源流の郷協議会  
加盟町村位置図

1

歴史と文化の薫る日本のふるさと

## 高津川源流・津和野町

〒699-5221 鳥根県鹿足郡津和野町日原54番地25  
TEL0856-74-0021

面積 307.09km<sup>2</sup> / 森林率 90.3% / 人口 7,956人(平成27年3月31日現在)  
町の花 つわぶき / 町の木 樟(くすのき) / 町の鳥 白鷺(しらさぎ)



山陰の小京都・津和野の朝霧

### ■古き歴史と文化、そして日本一の清流に抱かれた町

鳥根県の西端にあり「山陰の小京都」と呼ばれ、文豪「森鷗外」の生誕地などを有し、古き歴史と文化が漂う町です。

町の中央を日本海へと流れる高津川の本流にはダムがなく、国土交通省が実施する一級河川の水質調査において、現在3年連続で清流日本一に輝いています。豊かな自然は四季折々の彩りを見せ、年間100万人を超える観光客を楽しませています。

- 特産物 アユ・ツガニ・ワサビ・冬虫夏草・地酒
- 見どころ 国定公園「安蔵寺山ブナの原生林」  
津和野城跡と青野山・天文台とプラネタリウム  
SLやまぐち号・森鷗外記念館
- 体験メニュー 登山・カヌー・川遊び・天体観測・そば打ち

2

この森に学び この森にあびて あめつちの心に近づかむ

## 四万十川源流・松野町

〒798-2192 愛媛県北宇和郡松野町松丸343番地  
TEL0895-42-1111

面積 98.50km<sup>2</sup> / 森林率 83.7% / 人口 4,211人(平成27年3月31日現在)  
町の花 エビネ / 町の木 ヒノキ



森の国ホテル

### ■浪漫チックシアター森の国まつ

鬼ヶ城山系や清流四万十川の支流・広見川など、豊かな自然に囲まれた愛媛県一小さな町です。町内を貫流する広見川や目黒川は、豊富な水量で田畑を潤しながら、県境を越えて四万十川と合流しています。

町の南部を流れる目黒川の源流部分には、足摺宇和海国立公園に指定されている「滑床溪谷」があり、日本の滝百選にも認定されている「雪輪の滝」を中心とする溪谷美や溪谷を囲む森林美は多くの来訪者を魅了しています。

- 特産物 桃・梅・茶・天然うなぎ
- 見どころ 国立公園「滑床溪谷」  
国指定史跡「河後森城跡」・遊鶴羽の棚田
- 体験メニュー キャンオニング・トレッキング・ネイチャーガイド

3

維新の英雄に思いを馳せる脱藩の道の通る郷

## 四万十川源流・津野町

〒785-0201 高知県高岡郡津野町永野471-1  
TEL0889-55-2311

面積 197.85km<sup>2</sup> / 森林率 90% / 人口 6,232人(平成27年3月31日現在)  
町の花 アケボノツツジ / 町の木 ヒノキ / 町の鳥 ヤマガラ



津野山古式神楽の天岩戸の舞矢

### ■四万十川源流と新莊川が貫流する町

中世の時代には、あたり一帯を支配した「津野氏」のもとで発展してきた地域で、独特の津野山文化に彩られています。町を清流四万十川と清流新莊川が貫流しており、どの地域も川沿いに集落が点在しています。日本一有名な清流四万十川の源流点のある不入山一帯は、ブナ、コウヤマキ等の原生林に覆われ、多くの人々が訪れています。

- 特産物 津野山茶・天狗味噌・土佐ジロー卵  
土佐文旦・みょうが・ししとう
- 見どころ 四国カルスト・天狗高原・脱藩の道  
貝ノ川の棚田
- 体験メニュー 森林セラピー「四国カルスト天狗高原自然休養林」  
そば打ち

4

ひめのもち、森林セラピーで元気 千人の住む村

## 旭川源流・新庄村

〒717-0201 岡山県真庭郡新庄村2008-1

☎0867-56-2626

面積 67.10km<sup>2</sup>／森林率 91%／人口 963人(平成27年3月31日現在)  
村の花 桜／村の木 杉

新庄川河川公園

## ■清らかな水に恵まれた自然豊かな村

岡山県三大河川の一つ、旭川の源流域に位置する新庄村は鳥取県に隣接する人口約1,000人の村です。明治5年の村政施行以来、山陰・山陽を結ぶ出雲街道の宿場町として栄えた本村には古い歴史と文化が今も残っています。また、ブナの原生林「毛無山」の豊かな自然から湧き出る清流は、美味しいもち米“ヒメノモチ”を育み、村の特産品として多くの皆様からご好評をいただいております。

- 特産物 ひめのもち・サルナシ・源流域野菜
- 見どころ 出雲街道新庄宿(がいせん桜通り)・不動滝  
毛無ヶ山
- 体験メニュー 森林セラピー・毛無山山系登山

5

世界遺産、熊野古道と暮らすまち

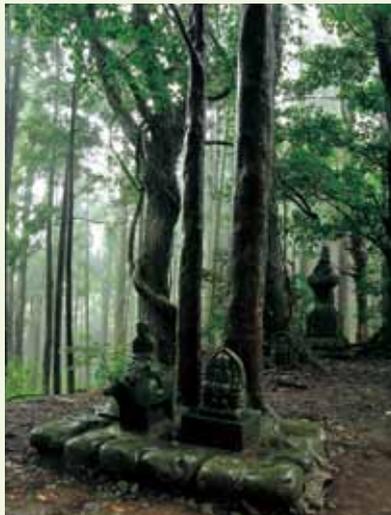
熊野川、日高川、日置川、富田川源流  
田辺市

〒646-8545

和歌山県田辺市

新屋敷町1番地

☎0739-22-5300

面積 1026.91km<sup>2</sup>  
森林率 89.1%  
人口 78,095人  
(平成27年4月30日現在)  
市の花 梅  
市の木 ウバメガシ  
市の鳥 メジロ

牛馬童子像

## ■自然と歴史を生かした新地方都市田辺市

紀伊半島の南部にある田辺市は、川下は太平洋、川上は果無山脈ともよばれる紀伊山地まで総面積は和歌山県の22%を占めています。主な水系としては日高川水系、富田川水系、日置川水系、熊野川水系の4水系を抱える、広大な圏域です。市内には人々が古来より「癒し、蘇り、救い」を求め巡礼した熊野古道及び、貴重な文化遺産が点在します。

- 特産物 梅・みかん・紀州備長炭
- 見どころ 熊野本宮大社・紀州備長炭記念公園
- 体験メニュー 炭窯出し体験

6

全国唯一の飛び地の村

## 熊野川支流北山川・北山村

〒647-1603 和歌山県東牟婁郡北山村大字大沼42

☎0735-49-2331

面積 48.21km<sup>2</sup>／森林率 98%／人口 456人(平成27年3月31日現在)  
村の花 しゃくなげ／村の木 じゃばら

奥瀬峡 筏下り

## ■「筏の村」「じゃばらの里」

“全国唯一の飛び地 北山村”の誕生は、北山川を抜きに語ることはできません。昭和30年代まで木材の輸送手段として北山川流域から集められた木材は、北山村の筏師によって下流の新宮市に運ばれており、新宮市との関係が深く、廃藩置県(明治4年)の際、村民の強い意志により和歌山県になったといわれています。現在“観光筏下り”として復活しています。

- 特産物 じゃばら・木工製品
- 見どころ 七色峡・奥瀬峡・骨置神社・東光寺
- 体験メニュー 北山川観光筏下り・ラフティング  
キャンプ

豊かな自然と歴史に彩られた源流の郷

## 熊野川源流・天川村

〒638-0392 奈良県吉野郡天川村大字沢谷60番地  
TEL0747-63-0321

面積 175.70km<sup>2</sup>／森林率 98%／人口 1,565人(平成27年3月31日現在)  
村の花 オオヤマレンゲ／村の木 杉／村の鳥 コマドリ



神童子谷釜滝

### ■世界遺産 大峯奥駈道

峻山名峰の連なる山岳、清らかな清流、深い溪谷など美しい大自然に恵まれた天川村は、その4分の1が吉野熊野国立公園に指定されています。古来より山岳宗教の聖地として祈りを集めた大峯の山々は高僧や皇室、貴顕の登拝により隆盛し、日本独自の宗教である修験道の根本道場として世界遺産にも登録されました。天川村は心も体も癒すサンクチュアリとしてその伝統を受け継いでいます。

- 特産物 名水・陀羅尼助丸・アメノウオとアユ
- 見どころ みたらい溪谷・大峯山龍泉寺  
天河大弁才天社
- 体験メニュー 大峯山山伏一日修行  
洞川エコミュージアムセンター自然観察会

天然林の保全と朝拝式が続く源流の郷

## 紀の川吉野川源流・川上村

〒639-3594 奈良県吉野郡川上村大字迫1335番地の7  
TEL0746-52-0111

面積 269.16km<sup>2</sup>／森林率 95%／人口 1,576人(平成27年3月31日現在)  
村の花 ヤマブキ／村の木 吉野杉／村の鳥 ヤマガラ



水源地の森

### ■吉野林業の発祥の地

吉野川の源流に位置する川上村は、日本三大人工美林の一つに数えられる吉野杉を育む、吉野林業の発祥の地です。豊かな雨、土壌、温暖な気候は良質な木材を育むことに適しており、自然と一体となった営みが築かれてきました。

村では、源流の村として積極的にその役割を果たしていく取り組みを進めており、最源流部の原生林を購入し、「水源地の森」として保全するなど、「水源地の村づくり」を進めています。

- 特産物 柿の葉寿司・鮎・かきもち・吉野杉・木工品
- 見どころ 歴史の証人（日本最古の人工林）  
トガサワラ原始林
- 体験メニュー 森と水の源流館・匠の聚・中井溪谷自然塾

広大な大台ヶ原を抱く村

## 熊野川源流・上北山村

〒639-3701 奈良県吉野郡上北山村河合330番地  
TEL07468-2-0001

面積 274.22km<sup>2</sup>／森林率 97%／人口 590人(平成27年3月1日現在)  
村の花 山ゆり／村の木 けやき／村の鳥 ほととぎす



又剣山から大台ヶ原遠望

### ■「大自然の力みなぎる癒しの郷」

大台ヶ原と大峯山脈を結ぶ伯母峰峠付近に水源のある清流「北山川」をはじめ、「小椽川」や多くの支流と滝、広大な原生林、花木など、自然生態系が織りなす四季折々の自然があります。村域北東の県境を占める日本百名山の 大台ヶ原と近畿最高峰の八経ヶ岳、世界遺産の大峯奥駈道を有する大峯山脈、多様な生態系やブナ林などの天然林に育まれた和佐又山など、豊かな自然に包まれています。

- 特産物 むぎさ寿司・とちもち・あまご・鮎
- 見どころ 大台ヶ原・八経ヶ岳・笹の窟
- 体験メニュー 心の道ウォーク  
ヒルクライム大台ヶ原since2001

10

「歴史と自然を満喫できる郷」

## 熊野川源流・下北山村

〒639-3803 奈良県吉野郡下北山村寺垣内983

TEL07468-6-0001

面積 133.53km<sup>2</sup>／森林率 92.26%／人口 1,020人(平成26年3月1日現在)  
村の花 川ツツジ／村の木 トチノキ／村の鳥 カワセミ

七重滝

## ■元気・本気の人気村「きなりの郷」下北山

下北山村は、奈良県の最南端に位置し四方を山々に囲まれ大峯山脈が連なる一部は、吉野熊野国立公園に指定されています。また、古代から山岳信仰の対象であった「大峯奥駈道」が世界遺産に登録されている深山幽谷の郷です。林業の不振から第2の産業として観光に着目し、池ノ平公園、下北山温泉「きなりの湯」など観光資源の活用による村の振興を図っています。

- 特産物 下北春まな・南朝味噌・栃餅・アマゴ  
ぼたん鍋
- 見どころ 前鬼不動七重滝・さくら祭り・夏祭り(花火)
- 体験メニュー キャンプ・バスフィッシング・登山

11

大峯修験道によって開かれた村

## 紀の川吉野川源流・黒滝村

〒638-0292 奈良県吉野郡黒滝村大字寺戸77番地

TEL0747-62-2031

面積 47.71km<sup>2</sup>／森林率 97%／人口 797人(平成27年4月1日現在)  
村の木 杉

赤岩溪谷

## ■豊かな森と共に田舎暮らしが楽しめる村

吉野山地の美しい山々に囲まれ、清らかな水の流れる黒滝村。村の総面積の97%を森林が占め、家から一步足を踏み出すと、目の前に大自然が広がっています。

北は桜で有名な吉野山が連なり古くから大峯修験道によって開かれ、南朝の奥座敷であったことから、貴重な文化的遺産が点在します。

- 特産物 杉の葉染め・鮎・アマゴ・しし申・しか申  
猪コロッケ
- 見どころ 黒滝ビリケン・理源大師廟塔・大天井ヶ岳
- 体験メニュー ハイキング・キャンプ・杉の葉染め体験

12

「感動」と出会えるむら

## 紀の川吉野川源流・東吉野村

〒633-2492

奈良県吉野郡

東吉野村

大字小川99番地

TEL0746-42-0441

面積 131.60km<sup>2</sup>

森林率 96%

人口 2,045人

(平成27年3月31日現在)



七滝八壺

## ■日本で最後にニホンオオカミが発見された村

東吉野村は、奈良県の東部、吉野郡の北東端に位置した人情豊かな山村です。霊峰高見山を最北端とする北部台高山脈の山々は分水嶺をなし、奈良県側は高見川から吉野川・紀ノ川に三重県側は櫛田川にそそぎます。平成20年には、「平成の名水百選」に「七滝八壺」の滝が選定されました。昭和59年以来ホテルを介して大阪府堺市と「友好都市」となり、交流と連携の輪を広げています。

- 特産物 東吉野のお茶・朴の葉ずし・木工品  
手作り味噌
- 見どころ 高見山・七滝八壺・宝蔵寺のシダレザクラ  
丹生川上神社・ニホンオオカミの像
- 体験メニュー キャンプ・ハイキング・登山・川遊び

13

全村民が山主という林業の村

## 矢作川源流・根羽村

〒395-0701 長野県下伊那郡根羽村1762

☎0265-49-2111

面積 90km<sup>2</sup>／森林率 92％／人口 1,020人(平成27年3月31日現在)  
村の花 岩ツツジ／村の木 杉

矢作川源流

## ■「親が植え、子が育て、孫が伐る」伝統が根付く

長野県の最南端に位置する根羽村は、「信州の南玄関口」にあたります。根羽村を源流とする矢作川は、長野県、岐阜県、愛知県にまたがる大河であり、古くは上流域から山の幸、下流域からは海の幸などの運搬のために、近年は流域134万人の飲み水をはじめ農業・工業・発電に利用されており、「流域運営共同体」を合言葉に、新たな地域づくりを展開しています。

- 特産物 とうもろこし・ヨーグルト・豆腐
- 見どころ ネバーランド・月瀬の大杉・茶臼山高原
- 体験メニュー そば打ち・木工クラフト・林業

14

江戸当時の面影を色濃く残す村

## 木曾川源流・木祖村

〒399-6201 長野県木曾郡木祖村藪原1191-1

☎0264-36-2001

面積 140.5km<sup>2</sup>／森林率 90％／人口 3,097人(平成27年3月31日現在)  
村の花 りんどう／村の木 トチノキ

平成の名水百選「水木沢 天然林」

## ■源流の里から木曾川の流れて沿って繋ぐ水の絆

木祖村は「母なる川 木曾川」229kmの最上流に位置し、日本海との分水嶺ともなっています。気候は、年間平均気温は、8.1℃と冷涼でありながら、夏と冬、昼と夜の気温の較差が激しいのが特徴です。中山道が通り、木曾街道藪原宿と奈良井宿を隔てる鳥居峠は、中山道屈指の難所でした。道端には、芭蕉をはじめとする俳人、歌人の俳句や石仏が数多く立っています。

- 特産物 お六櫛・百草葉・工芸品・地酒・木曾牛
- 見どころ 中山道鳥居峠・水木沢天然林  
味噌川ダム（奥木曾湖）
- 体験メニュー 木工クラフト・そば打ち  
やぶはら高原（アウトドアレジャー）

15

千曲川源流の野菜王国・レタス村

## 信濃川千曲川源流・川上村

〒384-1405 長野県南佐久郡川上村大字大深山525

☎0267-97-2121

面積 209.61km<sup>2</sup>／森林率 85.2％／人口 4,078人(平成27年3月31日現在)  
村の花 シャクナゲ／村の木 カラマツ／村の鳥 ウグイス

千曲川源流

## ■日本百名山の金峰山、甲武信ヶ岳が聳える源流の里

長野県の最東端に位置し、山梨、埼玉、群馬の三県と隣接する川上村は、甲武信ヶ岳から日本海へ流れる日本最長の河川、千曲川（信濃川）に育まれた源流の郷です。その清らかな水と、全村が標高1,100mを超える冷涼な気候を活かした高原野菜の産地で、特にレタスは日本一の生産量を誇り、全国に新鮮な野菜を提供しています。近年では、各種スポーツイベントを活用した野菜消費キャンペーンや、台湾などへの輸出も行なっています。

- 特産物 レタス・川上そば・はりこしまんじゅう
- 見どころ 千曲川源流・金峰山・大深山遺跡
- 体験メニュー 金峰溪谷トレッキング体験ツアー

16

柳田国男が郷土誌にメッセージを送った村

## 相模川水系道志川源流・道志村

〒402-0209 山梨県南都留郡道志村6181番地1

TEL0554-52-2111

面積 79km<sup>2</sup>／森林率 95％／人口 1,818人(平成27年4月現在)  
村の花 やまゆり／村の木 杉



日本一の水源の郷をめざして

### ■日本一の水源の郷をめざして

道志村は、山梨県と神奈川県との県境に位置し、北は都留市と、西は山中湖村と、南は山北町と、東は相模原市と隣接しています。村には横浜市水源涵養林が広がり、林野面積の38%を占め、道志川の水は横浜市の水道水として利用されています。平成21年には、ブロードバンド・ゼロ地域解消の為、光ファイバーを敷設し、全戸にテレビ電話機能を有した告知用端末を整備しました。

- 特産物 クレソン・鮎・七里味噌
- 見どころ 道志溪谷・源流の森・七滝
- 体験メニュー みなもと体験館  
道志川フィッシングセンター

17

多摩川の最初の一滴・水干の所在するまち

## 多摩川源流・甲州市

〒404-8501 山梨県甲州市塩山上於曾1085番地1

TEL0553-32-2111

面積 264km<sup>2</sup>／森林率 80％／人口 33,503人(平成27年3月31日現在)  
市の花 さくら／市の木 ぶどう／市の鳥 うぐいす



竜噴出合い滝

### ■豊かな自然、歴史と文化に彩られた果樹園交流のまち

山梨県甲州市は、日本百名山の大菩薩嶺をはじめ一ノ瀬溪谷(多摩川源流)や日川溪谷など雄大な自然に包まれ、ブドウやモモなどの日本有数の果樹産地が形成されたまちです。また、世界のワイン愛好家が認める日本ワインの産地、戦国武将の武田家にまつわる遺宝やワイン醸造などの近代産業遺産に恵まれた魅力あるまちです。

- 特産物 ぶどう・もも・すもも・さくらんぼ  
ころがき・いちご・ワイン
- 見どころ 恵林寺・甘草屋敷・大菩薩嶺  
一ノ瀬溪谷・日川溪谷
- 体験メニュー ウォーキング・キャンプ

18

森を育み生命を運ぶ、利根川源流の町

## 利根川源流・みなかみ町

〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑318

TEL0278-62-2111

面積 780.91km<sup>2</sup>／森林率 94.47％／人口 20,496人(平成27年3月31日現在)  
町の花 やまぶき／町の木 ブナ／町の鳥 ウグイス



奥利根湖

### ■『森を育み生命を運ぶ 利根川源流の町』

首都圏2,900万人の生活を支える流域面積日本一の「坂東太郎(利根川)」の水を司る重要な役割を担うみなかみ町。町は、谷川岳の「一ノ倉沢・マチガ沢」に代表される山岳地や、清らかな水が流れ蛍が舞う美しい田園、各地に湧き出る温泉など、雄大な大自然に抱かれた町です。また、みなかみ町は、山と森林と川を守り、万物が脈々と生存することを願い「水と森林の防人」を宣言しています。

- 特産物 地ビール・飲むヨーグルト  
温泉まんじゅう
- 見どころ 谷川岳・ホテル・利根川流域の渓谷
- 体験メニュー たくみの里・アウトドア

さわやかなるせ 仙人の郷

## 雄物川水系成瀬川源流・東成瀬村

〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1  
TEL0182-47-3408

面積 203.57km<sup>2</sup>／森林率 93%／人口 2,686人(平成27年4月1日現在)  
村の花 山ゆり／村の木 秋田杉／村の鳥 やまどり



成瀬川源流

### ■「仙人の住む水と緑の郷」

東成瀬村は、秋田県の東南端に位置し、東は岩手県、南は宮城県に隣接しております。成瀬川の清らかな水と栗駒山系の豊かな緑に恵まれた田園には、ホテルが飛び交い、せせらぎの清流は、水道水や農業用水として利用されています。また、子育て支援や教育にも力を入れ、村づくりを支える次世代教育にも取り組んでおります。

- 特産物 トマト・平良カブ・山菜・どんが汁  
りんどう・とまと加工品
- 見どころ すずこやの森・郷土の森(天正の滝自然公園)・焼石岳  
須川湖・栗駒山／栃ヶ森周辺森林生態系保護地域
- 体験メニュー 登山・スキー・トレッキング・キャンプ  
仙人修行(体験イベント)

世界自然遺産白神山地の山里

## 岩木川源流・西目屋村

〒306-1492 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字稲元144  
TEL0172-85-2111

面積 246.02km<sup>2</sup>／森林率 94%／人口1,457人(平成27年4月1日現在)  
村の花 ヤマツツジ／村の木 ブナ／村の鳥 ハト



暗門の滝

### ■「世界遺産と水源の里」

西目屋村は青森県津軽地方の西部南端に位置し、三方を千mクラスの間々に囲まれた山峡の村です。

本村の南西部には、ブナの森が広がる世界遺産登録地域の「白神山地」を一部含んでおり、原生的な生態系と豊かな自然を有しています。ブナ林には高い保水力があり、緑のダム役を果たすとともに、岩木川の源流として本村は「水源の里」となっています。

- 特産物 白神の米・白神そば・白神りんご・目屋豆腐
- 見どころ 暗門の滝・マザーツリー・乳穂ヶ滝・目屋溪  
岩谷観音
- 体験メニュー ブナ林散策道・暗門の滝歩道

源流大学と源流研究所がある村

## 多摩川源流・小菅村

〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村4698  
TEL0428-87-0111

面積 56km<sup>2</sup>／森林率 95%／人口 726人(平成27年3月31日現在)  
村の花 ミツバツツジ／村の木 ヒノキ／村の鳥 ミソサザイ



山間の小さな村

### ■「村民と流域市民が一体となった地域づくりをめざす村」

山梨県の東北部にある小菅村は、多摩川源流に位置します。

明治34年から東京都による水道水源林の経営が開始されるなど、森と水を介して流域と密接に関わってきました。25年前から源流をキーワードに村づくりを開始、平成13年に源流研究所を設立、平成19年には源流大学が開校、平成21年には村肝いりのNPO法人多摩源流こすげが誕生し、流域と連携した地域づくりが進められています。

- 特産物 ヤマメ・ワサビ・コンニャク・ソバ
- 見どころ 大菩薩峠・白糸の滝・雄滝・牛ノ寝の水源林
- 体験メニュー 源流体験・ソバづくり・木工体験  
フォレストアドベンチャー

# 源流白書での緊急提案

## ～源流域再生のための4つの提言～

全国源流の郷協議会では、源流の課題が国民の皆さんの共通の課題であり、その解決には国民の皆さんと一緒に考え、行動する事が不可欠であると考えております。そのため、協働の意識を共有することを訴えるために源流白書を作成しました。

源流は、日本の国にとってどんな存在なのでしょう？

日本の原風景というと、思い浮かべるのはどのような風景でしょうか？

里の最も奥には神々が降臨すると思われる岳や峯の山々がそびえ、その麓には普段あまり近づかないところ、特に、子ども達には入ってはならない奥山があり、その下に薪や炭、食糧や山や畑で使う道具の資材などを供給した里山がありました。

そして家畜を飼うための草地や田畑があり、夕暮れには家々から煙が上るといふまさに原風景が広がっていました。

岳を源とする清流が命をつなぎ、里を潤し、そのあちこちには子どもらの遊びと共存する生業が広がり、心豊かな源流文化を育んできました。

こうしたふるさとには、大人から子どもへ、爺様から親父へ、婆様から嫁へと生きる力である「技」と「知恵」が伝えられていました。

源流白書では、源流域が直面している危機は、下流の都市だけでなく日本の国にとっても危機であることや、源流域がもっている大切な文化や価値、そして可能性を述べています。その中で、次の通り今やらなければならないことを提案しております。

### 一、 私たちの共通財産である源流を守ることは、緊急の課題であり、100年先の日本の存続に向け、「源流基本法」を設け、源流域を守るためにあらゆる力を結集する仕組みを作ること。

源流域の森林を今のまま放置すると、いずれ日本列島は災害列島と化す可能性があります。また、源流文化を失うことで、基本的な人間の生きる力を学ぶことができなくなることになりかねません。未来社会の行方が大きく変わってしまうのです。源流で働く、源流で暮らす。そして豊かで、安心・安全な流域社会を再生することが重要なのです。

### 一、 流域圏における安全・安心で、持続的な循環型社会のありようにもう一度光を当て、理想的なシステムを確立すること。

経済、防災・減災、健全な水循環や生態系の保全といったことが流域単位で完結した社会のシステムの良さを見直し、食糧の自給率、それぞれの持ち味を生かした産業と流通、地産池消での相互扶助、多角的な「ペアリング支援」の推進、上流は下流を思い、下流は上流を思いやる精神文化（流域文化）を次世代に伝えることが必要なのです。

### 一、 源流が培ってきた源流文化を、21世紀の循環型社会の形成を果たすために再構築し、それを広く伝えるために、教育の場を整備すること。

子ども達の環境教育や社会人の健康増進などに役立てる必要があります。特に、ふるさとのない子ども達やストレス症候群などに悩まされている社会人が増加傾向にある中で、源流健康センターや源流教育センター（源流大学）などを緊急に整備し、国民の健全な教育環境や健康維持・増進に役立つことを進める必要があるのです。

### 一、 国土保全という大変な役割を果たしている、源流域の農林業の経営意欲の活性化と緊急の鳥獣害対策や森林の土地政策の確立を図ること。

森林管理に影響のある、所有者のわからない森林の拡大や、管理放棄、また、森林売買につながっている法制度の不備。それらの原因として、木材価格の低迷や、山での労働力不足が挙げられます。経営意欲を大きく失わせているシカの食害をはじめとする鳥獣被害への対策を進める必要があるのです。

源流の問題はその流域だけでなく、国民的に緊急の問題です。源流域を再生することは、豊かな国土を守り、次世代につなげる「仕事」です。源流再生に大きなご支援をお願いします。

源流白書を作成するにあたり、土木工学、生態学、民俗学、源流大学、農林業経済学、そして企業の立場から、下記の皆様に検討委員として係わっていただき、それぞれ貴重なご意見や執筆を頂き完成することができました。

#### ●源流白書検討会委員

高橋裕（東京大学名誉教授）／宮林茂幸（東京農業大学教授）／澁澤寿一（NPO法人樹木・環境ネットワーク理事長）／小田切徳美（明治大学教授）／金尾健司（国土交通省水管理・国土保全局河川環境課長（現河川計画課長））／山田健（サントリーホールディングス株式会社 チーフスペシャリスト）／大久保憲一（全国源流の郷協議会 長野県根羽村長）

※組織名・肩書きは当時のもの

## 全国源流の郷協議会へ 参加・加入のよびかけ



源流白書作成検討会

### 「参加・連携・協働の源流の郷づくり運動」の展開を

#### 「全国源流の郷協議会」設立の趣旨

21世紀は環境の世紀です。日本民族は有史以来美しい国土と自然をこよなく愛し続けてきました。その国土の原風景が最も素朴な形で息づいているのが源流です。豊かな森林に覆われている源流域は、私たちに水や綺麗な空気など多くの恵みを与えると共に、私たちの生活や文化と密接にかかわり、人間の生き方や自然観にも大きな影響を与えてきました。

ところが、全国各地の源流域では急速な少子・高齢化が進んでおり、河川の最上流部に於いて生活や文化を維持するための中核的な役割を担う基礎自治体の存立が危うくなっているばかりか、スギやヒノキなど人工林をはじめとする森林の管理ができなくなるなど、源流に住む人々だけでは山や森が守れない現状にあります。また、平成の大合併のもと、人口の少ない源流の町村は吸収合併され、「源流」の看板を降ろさざるをえない地域も増えています。

私たちは、いずれかの流域に属し、河川の多様な機

能の恩恵に浴しています。とりわけ水や森林などの源流の資源は、私たちにとってなくてはならない共有の宝物です。かけがえのない財産である源流資源を、流域の視点に立って、源流に暮らす人と源流の恵みを共有し享受する人たちが協働して保全することが何よりも大切になっています。

地球環境問題への関心が益々強まるなか、水資源や国土の保全、生物多様性の確保、地球温暖化防止などの面で、特に重要な役割を担っている源流の郷で、自然環境を守りながら安定した生活が持続できるよう、全国各地の源流の郷が心をつなげて「参加・連携・協働の源流の郷づくり運動」を開始します。

かけがえのない源流資源の保全のために、文化を守り自然を愛する広範の人々が、地球の一員としての自覚を持ち、県境や流域を越え、直接にあるいは間接に源流へ支援の行動を始めましょう。源流の貴重な財産を私たちの知恵と力で守り、次の世代に残そうではありませんか。

## 全国源流シンポジウム、全国源流サミットの歩み

全国源流の郷協議会では源流域の重要性を広く普及するため、全国源流シンポジウム・全国源流サミットに共催しております。

#### 全国源流シンポジウム

第1回	多摩川源流	山梨県小菅村
第2回	大野川大会	
第3回	紀の川吉野川源流	奈良県川上村
第4回	高津川大会	
第5回	東京大会	
第6回	北上川大会	
第7回	多摩川源流	山梨県小菅村
第8回	五ヶ瀬川源流	宮崎県五ヶ瀬町
第9回	木曾川源流	長野県木祖村
第10回	熊野川源流	奈良県天川村

#### 全国源流サミット

第1回	相模川水系道志川源流	山梨県道志村
第2回	旭川源流	岡山県新庄村
第3回	四万十川源流	高知県津野町
第4回	利根川源流	群馬県みなかみ町
第5回	紀の川吉野川源流	奈良県川上村
第6回	矢作川源流	長野県根羽村
第7回	四万十川源流	愛媛県松野町(予定)

### 【事務局】

小菅村役場 源流振興課

〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村4698

TEL 0428-87-0111 / FAX 0428-87-0933

## いのち 源流 生命のみなもと

発行：全国源流の郷協議会

発行日：平成27年5月25日